

2020年9月10日

各位

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1
オンコセラピー・サイエンス株式会社
代表取締役社長 朴 在賢
(コード番号 4564 東証マザーズ)
(問い合わせ先) 管理本部長 木村 謙二
電話番号 044-820-8251

卵巣がんに対する MELK 阻害剤 OTS167 の抗腫瘍効果に関する論文公表のお知らせ

この度、当社の MELK (Maternal Embryonic Leucine-zipper Kinase) 阻害剤 OTS167 の卵巣がんに対する抗腫瘍効果に関し、埼玉医科大学国際医療センターの研究グループによる論文が公表されましたので、お知らせいたします。

本論文では、(1) MELK の卵巣がん診断マーカーとしての可能性、(2) MELK 阻害剤 OTS167 の卵巣がんに対する抗腫瘍効果について報告されています。

卵巣がん細胞での MELK 遺伝子発現レベルは正常卵巣と比較し有意に高くなっており、ステージの進行、腹水、遺残腫瘍サイズと共に高いレベルであることが確認されました。また、MELK 高発現の卵巣がん患者では、無増悪生存率の低下が認められました。

一方、OTS167 は、卵巣がん患者由来の卵巣がん細胞に対し、腫瘍発現部位、がんの組織の状態による分類およびステージに関わらず腫瘍増殖抑制効果を示しました。

これらの結果は MELK の卵巣がん診断マーカーおよび治療ターゲットとしての有用性を示唆し、OTS167 が卵巣がん治療の新たな選択肢となる可能性を示唆するものです。

本論文は、Journal of Gynecologic Oncology誌にオンラインで公表されております。

<https://ejgo.org/Synapse/Data/PDFData/1114JGO/jgo-31-e93.pdf>

(上記リンクでアクセスできない場合は直接 URL を入力してください)

以上